

# 佐賀市で県P定期総会

予算案などを審議した佐賀県PTA連合会の令和7年度定期総会



## 人事案、予算案などを承認

佐賀県PTA連合会の令和7年度定期総会が6月7日、佐賀市のメートプラザ佐賀で開かれました。県内各校の校長や単位PTAの会長らが出席し、令和7年度の基本方針案や予算案など4議案を原案通り承認しました。また総会に先立って開かれた記念講演では、公認心理師の森山沙耶氏がインターネットやゲームに依存する子供たちの対策について話し、来場者は学びを深めました。

(瀬戸健太郎)

記念講演は「子どもとネット・ゲームとの付き合い方」の演題で開催しました。森山氏はネット・ゲーム依存の現状を話し、「依存とは生活上の問題が生じても辞められない状態。意志の弱さや怠けなどの問題ではない」と説明。子供が依存に陥らないために何をすればいいか、依存からの回復にはどう向き合うかなどを話しました。参加者は自分たちの家の現状を振り返りながら熱心に聞き入り、ネット・ゲーム依存に対応するヒントを得ていました。

総会では冒頭、馬場將嘉会長が「PTAは戦後すぐ、日本の教育の民主化に向けて生まれたもの。その時の先人の思いを受け継ぎ、つなげていきたい。そのためにも県P連合会は皆さまと一緒に汗をかく」とあいさつ。来賓の甲斐直美・佐賀県教育長が「子供を信頼し、子供の

### 記念講演、初の試み

初の実演として開催された記念講演

令和7年度県P総会は初の試みとして、総会前に森山沙耶さんによる「子どもとネット・ゲームとの付き合い方」と題した記念講演を開催しました。

講演では、ネットやゲームへの依存について、正しい理解の仕方や向き合い方を学びました。森山さんは事例を用いながら、「1日4時間以上というネットの過剰使用によって、数学的・科学的リテラシーや読解力が低下する」などと説明。「人間関係や心理・身体面への影響だけでなく、発達途上である子供の脳にも多大な影響を与える」と強調しました。

依存に加え、SNSがもたらす悪影響として、16%の子供がいじめ被害に遭っていることを紹介。予防策として、家庭でネット使用に関するルールをつくることと、日ごろから子供とコミュニケーションを取ることで、ネットリテラシーを高める大切さを話しました。

また、「ネットやゲームを完全に絶つ」などできないことを求めるより、「使用ルールを守れた」などできたことに目を向けることで、「子供の自己肯定感や自尊心の向上につなげましょう」と呼び掛けました。(中村剣士朗)

### ネット依存の対応など学ぶ

主体性を伸ばしていくことが大切。PTAの皆さんと一緒に力を合わせていきたい」と祝辞を述べました。

議事では4議案を審議。このうち、役員選出に関する議案では、会長に馬場会長(伊万里市)を再任したほか、副会長に鶴健太さん

（鹿島市）、吉村亮さん（多久市）、橋口寛太さん（嬉野市）、藤津、末永麻梨子さん（母親委員長）、林寛さん（校長会代表）を選ぶ人事案が承認されました。

### 受賞者 喜びの笑顔

令和7年度の基本方針は昨年度に引き続き、「親が親になるために、先生が先生になるために」を掲げ、家庭と学校が地域社会と手を携えながらそれぞれが適切な役割を果たし、未来への新たな扉を開いていくことを確認しました。努力目標は「PTA活動の充実と活性化」「家庭と学校の連携強化」「情報・資料提供の推進」など7項目を挙げ、認められました。2006万3千円の県PTA連合

会予算案など3予算案、事業計画案も原案通り可決しました。

また、5団体24個人が受賞した県PTA表彰、特別表彰(中富賞)、PTA新聞コンクールの表彰が行われました。受賞者に賞状や記念品が贈られ、受け取った受賞者は喜びの笑顔を見せていました。



## 丸田塾

maruta

### 37年の信頼と実績 県内に7教室!

生徒ひとりひとりに寄り添った指導をします。

## 夏期講習

夏の勉強場所に、丸田塾を選んでみませんか?

小・中・高 目標に応じた各コース  
全教科指導 部活や習い事との両立もできます  
英検・漢検・数検 の受験もできます  
オンライン英会話

正社員講師 が責任をもって指導します

### 2025年度 合格実績

県立高 **147名**  
致遠館中 **37名**

お問合せは  
電話または  
ホームページから



## 令和7年度 PTA 基本方針・努力目標

## スローガン「親が親になるために、先生が先生になるために」

時代とともに社会環境が大きく変化し、子供たちの心身を健全に育成するための環境は厳しさを増しています。佐賀県PTA連合会は行政や社会教育機関、地域との連携を深め、協働を図りながら一つ一つの問題を解決していきます。

子供たちのための働き方改革を巡り、教育現場の先生方の献身的な取り組みは日本の学校教育の高い成果に貢献してきました。その一方で、先生方の大きな負担となっていたことも事実です。佐賀県PTA連合会は学校との連携を深め、「日本型学校教育」の良さを維持しながら、先生方と子供たちの生き生きとした教育活動を取り戻していきます。

教育の根底にあるのはあくまで家庭であり、その第一の責任は親(保護者)にあります。家族の触れ合いを通して、子供に基本的な生活習慣や倫理観、道徳観などを身に付けさせる上で重要な役割を果たしています。

PTA活動を通して一度、家庭教育、学校教育の役割を理解する必要があります。一人の親として、一人の先生として協働を図りながら明るく豊かな社会の創造に向け、それぞれの適切な役割を果たしていくことが未来への新たな扉を開いていくことにつながると信じて力強く活動してまいります。

## 初の新理事研修会を開催

## 理事の心構えなど学ぶ

佐賀県PTA連合会の2025年度の新理事を対象にした研修会が5月24日、佐賀市のグランデはがくれで開かれました。新たに市郡連会長などに就任して県Pの理事となる7人が参加し、理事の役割や心構え、県Pの仕組みなどを学びました。

新理事研修会は今回初めての取り組みです。正式に理事会のメンバーとなる前に、理事の役割や県Pの事業内容への理解を深めてもらうことで、遅滞ない活動につなげてもらう狙いがあります。

会では、県Pの馬場将嘉会長が「理事は市郡連の代表ではあるが、それ以上に県P連全体のことを考えて行動してほしい」と要請。理事として県Pの運営に携わり、様々な事業に取り組む必要性が語られました。



## 基本方針(要約)

## 【日本PTA全国協議会綱領】

公益社団法人日本PTA全国協議会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育及び家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子供たちの健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

## 努力目標(要約)

- ① 組織・運営  
会員の意識と連帯感および資質の向上を図る。
- ② PTA活動の充実と活性化  
県内PTAの親睦と交流を深め、市郡連PTA活動の支援に努める。
- ③ 家庭・地域との連携と地域活動の活性化  
学校・家庭・地域社会が相互に理解・連携に努める。
- ④ 家庭と学校の連携強化  
家庭、学校、教職員が職務を全うできるよう、家庭教育の質の向上を図る。
- ⑤ 情報・資料提供の推進  
SNS等を活用し、PTA活動に関する情報提供を推進する。
- ⑥ 会員や児童生徒の安心感を確保する取り組み  
PTA安全互助会事業を行うと共に小中学校総合保障制度加入を推奨する。
- ⑦ 講演会の実施  
会員のための事業を実施し、会員の成長を促すきっかけをつくる。

## 令和7年度 役員・理事

## 役員

## 会長

馬場 将嘉  
(伊万里市)

## 副会長

鶴 健太  
(鹿島市)

## 副会長

吉村 亮  
(多久市)

## 副会長

橋口 寛太  
(嬉野藤津)副会長  
(母親委員長)末永 麻梨子  
(鳥栖地区)副会長  
(校長会代表)林 寛  
(上峰小)

## 理事

## 【鳥栖地区】

山口 修  
(麓小)

## 【三養基郡】

中山 一重  
(三根東小)

## 【神埼地区】

森田 渡  
(脊振育友会)

## 【佐賀市】

辻 康児  
(西与賀小)

## 【小城市】

秋丸 昌之  
(牛津中)

## 【唐津地区】

古藤 悟  
(第一中)

## 【伊万里市】

尾形 崇  
(伊万里中)

## 【西松浦郡】

長 浩司  
(西松浦郡)

## 【武雄市】

池田 智博  
(御船が丘小)

## 【杵島郡】

田中 喜久  
(江北小)

## 【母親副委員長】

江下 真真子  
(兵庫小)

## 【新聞編集委員長】

瀬戸 健太郎  
(鳥栖中)

## 事務局

総括 長谷川 義高

事務 坂井 範子 宇井 幸子

## 新入生いきいき、歓迎行事楽しむ

新一年生が入学して3カ月。子供たちは新しい環境にも慣れ、学校生活を満喫しています。学校では入学式のほか、新入生を歓迎する多彩な行事が実施され、新入生が一日でも早く学校に馴染めるよう後押しをしてきました。これまでの学校生活の様子を写真で紹介しします。

集団  
登校

1年生を迎える会

歓迎  
遠足

入学式

## さあ、みんなで一緒に！少年自然の家へ体験の旅に出よう。



佐賀県波戸岬少年自然の家

TEL:0955-82-5507 FAX:0955-51-1036 <https://www.hadosyou-saga.jp>

佐賀県黒髪少年自然の家

TEL:0954-45-2170 FAX:0954-45-2137 <https://www.kurokami-saga.jp>

県内には、山や高原、海に面した少年自然の家があります。少年自然の家は、ご利用の団体に応じた活動ができる宿泊施設です。各学校の自然体験・宿泊学習、子ども団体の自然体験、キャンプはもちろん、小・中・高等学校のスポーツや音楽団体などの練習や合宿、研修に最適な施設です。皆さま方のご利用をお待ちしております。

## 【施設利用料(一泊あたり)】

〇2歳まで:無料 〇3歳~中学生:600円 〇大人:1300円

〇高校生・学生・教育内活動に係る指導者:900円

【食費】〇小学生未満 朝食:500円 昼食:650円 夕食:800円

〇小学生対象 朝食:600円 昼食:750円 夕食:900円

〇中学生以上 朝食:700円 昼食:850円 夕食:1000円



第46回 佐賀県PTA新聞コンクール

西唐津小、山内中が最優秀

小中学校のPTAや育友会が発行する広報紙の企画性やデザインを競う「第46回佐賀県PTA新聞コンクール」の最終審査が4月17日、佐賀新聞社で開かれました。県内の小中学校から多くの力作が応募され、小学校の部では西唐津小PTAの「ひびき」が、中学校の部では山内中PTAの「おやつばめ」が最優秀賞に選ばれました。（山田宏郎）

大紙面、審査員引きつける / 中学校の部 山内中PTA 「おやつばめ」 最優秀賞



「おやつばめ」は前半部分に運動会など学校行事の写真が数多く掲載され、子どもたちの生き生きとした表情以外にも、靴箱や机の上に置かれた図工の作品など、学校生活の1ページを切り取った多彩さが印象的でした。また、後半部分にはじっくりと読ませる記事が並んでおり、メリハリの効いた紙面構成が光りました。

メリハリ効いた紙面光る / 小学校の部 西唐津小PTA 「ひびき」 最優秀賞



「ひびき」は前半部分に運動会など学校行事の写真が数多く掲載され、子どもたちの生き生きとした表情以外にも、靴箱や机の上に置かれた図工の作品など、学校生活の1ページを切り取った多彩さが印象的でした。また、後半部分にはじっくりと読ませる記事が並んでおり、メリハリの効いた紙面構成が光りました。

受賞おめでとうございます

第46回 佐賀県PTA新聞コンクール入賞校

小学校の部	中学校の部
<b>最優秀賞</b> ●「ひびき」 西唐津小P	<b>最優秀賞</b> ●「おやつばめ」 山内中P
<b>優秀賞</b> ●「ひろば」 武雄小育 ●「なかばる」 中原小P ●「あへまき」 仁比山小P ●「光る！波つ子」 波多津小育 ●「あおがし」 相知小育	<b>優秀賞</b> ●「飛翔」 牛津中P ●「潮の香」 川副中P ●「深翔」 東原岸舎西沢校育
<b>努力賞</b> ●「ときわ」 橘小育 ●「しおかぜ」 黒川小育 ●「古城」 北鹿島小P ●「しろやま」 山代東小P	<b>努力賞</b> ●「FIRST」 第一中P ●「なべしま」 鍋島中P ●「躍進」 川登中P ●「つばさ」 北方中P ●「やまなみ」 田代中P ●「育友会だより白線」 附属中育

※●は全国コンクールに出品

市郡連会長に聞く

県内に13ある市・郡・地区PTAの会長を順番に紹介します。それぞれの地区の自慢や課題、今後の展望について語ってもらいます。

第26回 神埼地区 森田 渡 会長

もりた・わたる

神埼市役所勤務。妻と中学2年生の長男、小学5年生の長女、父、母の6人家族。家族思いの性格で、普段は妻や長女などへの家族サービスを怠ることはないが、年末だけは特別。長男と男2人だけで温泉旅行に行くのを楽しみにしている。54才。所属単Pは脊振育友会。



できることをできる範囲で

◆PTA役員を引き受けたきっかけと実際に役員になった後の感想は？

おすすめ観光スポットは高取山公園です。8月に「脊振わんぱく祭り」が開催されますが、最後に花火大会がありますので、興味のある方は是非、山の中の花火を見に来てください。

◆これからの地区Pの課題はありますか？

子供数の減少などいろいろな課題がありますが、令和6年に神埼市と吉野ヶ里町のそれぞれの教育委員会と包括連携協定を結びました。これにより、各教育委員会と今まで以上の協力体制ができ、連携を深めていけるのではないかと思います。

◆脊振育友会の良いところと脊振のおすすめ観光スポットを教えてください。

子供たちの数は、小・中学校を合わせても48人と少ないですが、保護者の皆さんや先生たちは育友会の活動に協力的です。また、脊振小・中学校は小規模特認校として区域外から通学してくれている子供もいますが、その保護者の方も育友会に参加していただき、協力してもらっています。

◆次世代の役員さんへのアドバイスをお願いします。

役員になったとしても、やれることをやるというスタンスが大事だと思います。無理をする必要は全然なく、自分の生活があつてのPTA活動だと思っています。できることをできる範囲で取り組んでみてはどうでしょうか。

（聞き手・嬉野真紀子）



審査講評

佐賀新聞社 論説委員長

桑原 昇

「ズボラ」「手抜き」を超えて

仕事で「効率がいい」「作業が早い」はほめ言葉。どこからか新しいヒントを見つけ、自分なりにアレンジして実践すれば、「アイデア豊か」「情報収集力が高い」と称賛はさらに高まります。これが家事ならどうでしょう。スマホの情報からカット野菜なんかで包丁も火も使わない料理を作ったら、「手抜き」「ズボラ」と言われてしまう。今どきはやりの「タイパ」がいいのだから、もっとほめられていいはずなのに…。そんな嘆きを新聞で読んだことがあります。PTA広報紙も似たようなものかもしれません。忙しい合間に取材や編集

作業をしているのに、どこかマンネリで変わり映えがしない。「手抜き」している後ろめたさを感じてしまうことももしはしばです。今年の入選作はウェブ版やチラシ型といった媒体のあり方にアイデアと効率化の工夫が光りました。どの学校も保護者の顔が見え、地域とのかかわりが伝わってきます。それが、校区内の限られた人だけの「内向き」のメディアを、誰が読んでも面白い「外向き」に変えています。毎年のくり返して「ズボラ」「手抜き」に見えなくても、視点を変えればきっと輝きを放つはず。料理がおいしければ、みんなハッピーになれるのですから。

◆脊振育友会の良いところと脊振のおすすめ観光スポットを教えてください。

子供たちの数は、小・中学校を合わせても48人と少ないですが、保護者の皆さんや先生たちは育友会の活動に協力的です。また、脊振小・中学校は小規模特認校として区域外から通学してくれている子供もいますが、その保護者の方も育友会に参加していただき、協力してもらっています。

放課後等デイサービス **みんなのもり**

ボルダリングやeスポーツを導入し「できた」という成功体験を積み重ねることで「忍耐強さ」や「自信」につなげていきます。

みんながわくわくできる **秘密基地**

平日 19 時まで利用可 安心の完全送迎  
土曜・祝日 18 時まで おやつ・ジュース無料  
お弁当（有料）の注文可能

見学・体験大歓迎！  
お気軽にお問い合わせください

**利用児童募集中！！**

お問い合わせ／080-3222-8900(担当：石江・松尾)

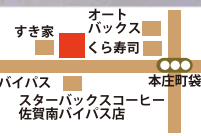
放課後等デイサービス **みんなのひろば**

トランポリンなどの運動により、インナーマッスルや筋肉・体幹を鍛え、脳の発達を促し「記憶力」「集中力」「理解力」の向上につなげていきます。

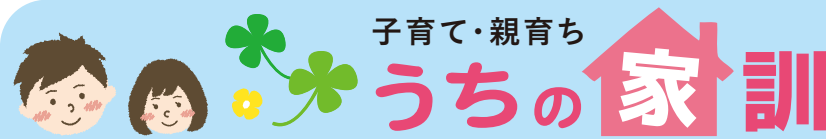
放課後等デイサービス **みんなのもり** 佐賀市呉服元町 2-14 0952-37-7678



放課後等デイサービス **みんなのひろば** 佐賀市本庄町袋 301-1 0952-97-8553







子育てのヒントに  
なるような、それぞれの  
「家訓」を紹介します。



#### 山本家の家訓

### 考えて説明することが大事

山本洋介(東原摩舎中央校P)

わが家は家訓を設けているわけではありませんが、一つだけ大事にしていることがあります。それは「考えて説明すること」です。

子供が悪いことをしてもいきなり叱りつけたりせず、まずは自分で考えさせ、「悪くない」と思った理由をどんどん言っていよう」と声を掛けます。その説明が私を納得させる内容でしたら、それはもう怒ることで

反対に説明を聞いても納得できない場合は、私も子供に「こういう理由でそれ(子供)の説明は納得できない」と伝え、子供が理解してくるまで説明することを心掛けています。こういうやりとりが、子供の「話す力」「聞く力」の成長につながればと思います。

#### 古竹家の家訓

### 「ありがとう」と伝えよう

古竹峻二(黒川小育友会)

「ありがとう」。私はこの言葉を大切にしています。

私が一緒にいる際に、子供が何かしてもらってもお礼を言えない時は、「ありがとうは？」

ちゃんと言わねばよ」と口酸っぱく言っています。その影響なのか、おのずと「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることができるようになりました。

入学式の祝辞では子供たち

に「何かをしてもらったら、恥ずかしいかも知れないけれど『ありがとう』と感謝の気持ちを伝えてください。小さい声でも大丈夫！心がこもっていればそれでいい」と伝えました。

「ありがとう」は言う側にも、言われる側にも幸福をもたらすおまじないのようなものだと思います。

「ありがとう」は言う側にも、言われる側にも幸福をもたらすおまじないのようなものだと思います。

「ありがとう」は言う側にも、言われる側にも幸福をもたらすおまじないのようなものだと思います。



### 生きてく強さ

GLAY (1995年)

### 神様が「人生は甘くない」

中学時代の苦い思い出の曲だ。

当時、卒業を迎える3年生の行事があり、友人と1日限りのバンドを組んで演奏しようとなり、私も手を挙げボーカルを志願した。

曲も決まり、自宅での猛練習がはじまった。ボーカルの私も繰り返し曲を聴き、歌詞を覚え、練習した。先生が演奏をチェックする日、テスト演奏が始まった。「ん〜、ダメね!」。先生の言葉にせっかくみんなで練習してきたからと半ば強引に「もっと練習するから」とお願いし、当日を迎えた。

ステージの幕が上がり、これまで経験したことのない緊張感に包まれた。伴奏が始まり、会場のボルテージは最高潮。ふと、頭が真っ白に…歌い出しが分からず、歌詞をすっばかしたのだ。緊張と焦りの中、口パクで歌うフリをし、バンドの演奏音だけが鳴り響く。「早く終わってくれ」と自分だけ音のない別世界にいるような感覚だった。ようやくサビの前で歌詞が追いつき、自分の歌声も耳に入っていないまま歌い終わった。

今こうして振り返ってみると、当時の私に神様が「人生は甘くない」と教えてくれたのかも知れない。中学時代に好きだった曲が人生で忘れられない一曲になり、生きていくための強さを学んだ一日となった。(西有田中PTA 川尻圭一郎)

上峰小学校PTAでは、とても楽しいイベントを開催しています。コロナ以前は、毎年PTA主催による全校児童対象のお祭り「上小祭」を開催していましたが、コロナ禍になりイベントができなくなりました。しかし、先生方や保護者からご理解をいただき、6年生のみを対象として「逃走中」を開催しました。先生や保護者がハンターとなり、児童を全力で追いかけるイベントです。全力で走る自分の親を見て、子供たちも嬉しそうでした。

コロナも明け、「上小祭」が復活しましたが、2年前の6年生が卒業する際に、子供たちから「逃走中」のリクエストがありました。きょうだい児から話を聞いて自分たちもしたいと思ったようです。しかし、開催するには準備と時間が必要です。とても心苦しかったですが、その時はお断りいたしました。そして今年の3月、卒業記念イベントと題し「逃走中」を復活させました。

将来、子供たちが親となった時、「PTAでのイベント、楽しかったな」ときつと覚えてくれることと思います。そして、私たち保護者も「活動が大変だ」ではなく、「PTAって楽しい!」と思ってもらえる組織になれるよう、次世代へと引き継いでいきたいです。

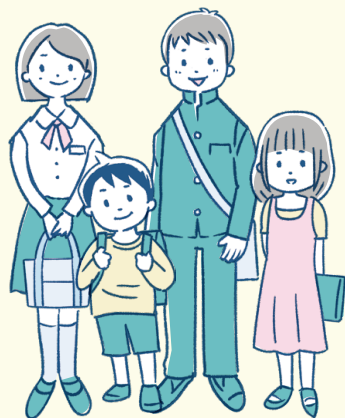
## 卒業記念で「逃走中」復活

上峰小PTA会長 江里口翔香



# 小・中学生総合保障制度ご案内 [こども総合保険]

たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします



#### 賠償補償

お友達にケガをさせる



自転車事故



通学中のケガ



日常生活のケガ



#### 育英費用補償

扶養者が事故で重度の後遺障害



補償内容について3分間の動画にまとめました



どのような補償があるか、ご確認ください

90-0014 (2026-04)

■制度に関するお問合せ先(取扱代理店)

株式会社コーリン(佐賀県PTA連合会 保障制度事務局) 0120-228-553 受付時間/平日 午前9:00~午後5:00

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F <https://www.pta-corin.com/>

■引受保険会社(幹事会社) AIG損保(非幹事会社) 東京海上日動、損保ジャパン、CHUBB

○この広告は「小・中学生総合保障制度(こども総合保険)」の概要についてお伝えしています。ご加入の際は必ずパンフレット及び重要事項説明書をご覧ください。